

毛呂山中だより

【学校教育目標】「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」 自ら学び 共感し 行動できる生徒
【目指す学校像】「一人一人が輝く学校 地域と共に歩む学校」 文責 前田 伸吾

2026年・丙午の年
炎のような情熱と勢いのある年と言われます
チャレンジして追い風が吹く年にしていきましょう！

保護者の皆様、地域の皆様には、2学期中にもたくさんのご保護者の皆様、地域の皆様、よい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

新しい年の1月を迎えました。皆様の今年の「初夢」はどのようなものだったでしょうか。「初夢」とは、諸説ありますが、最近では元日から2日にかけてみるものをさすようです。新年になって初めてみるものということでよいと思います。昔から初夢は、その内容によって1年を占うと言われています。その中でも良い夢というと江戸時代から「一富士（いちふじ）、二鷹（にたか）、三茄子（さんなすび）」と言われています。もっとも、これも江戸幕府を開いた徳川家康の縁の地である駿河国（今の静岡県）の名産をあげたという説や家康自身の好物という説もあるようです。そして、だれもが良い夢をみられるようにと七福神が乗った宝船の絵を枕の下に入れて寝るという風習は、江戸時代から始まったようです。

さて、本日より3学期が始まります。本学期の授業日数は、1・2年生が53日、3年生が46日です。1・2学期に比べると大変短い学期となります。そんな3学期、各生徒には「新年度の“0”学期」として日々の学校生活を充実させてほしいと考えています。ちなみに「新年度の“0”学期」とは、この3学期を4月からの新しい生活の準備をする学期にするということです。というのも、この3学期の様子を見れば、4月からの新年度1年間がどうなるか、だいたい予想できるからです。3年生にとって、3学期一番重要なことは進路決定です。この間、目標としている進路希望の実現に向け、学習等に全力投球すると思いますが、ここでの取組は4月からの新しい生活で必ず役に立ちます。2年生は卒業期に向け、3年生を送る会や卒業式の準備等で“学校の顔”として、その中心的役割を担います。企画・運営等に熱が入りやすい卒業期の学校行事は、4月からの“学校の顔”になる大変よい準備の機会となります。1年生は卒業期の学校行事の中で、2年生をしっかりサポートすることが、中堅学年を求められる「先輩を助け、後輩のよき手本」となる準備の機会となり、まさしく“学校のエンジン”として毛呂山中を動かす力になる練習期間となります。この3学期は、新年度の1年間を決める重要な学期です。これまで培った「時を守り、場を清め、礼を正すこと」「集団としての質を高める」を土台に、4月からの生活に万全を期す3学期にしてほしいと思います。

保護者・地域の皆様には、引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます 旧年中の本校教育活動への格別のご理解とご協力に対しまして心より御礼申し上げます 本年も一層のご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします

毛呂山町立毛呂山中学校職員一同

お礼

保護者の皆様にはお忙しい中、「毛呂山中学校の学校評価のアンケート」にご協力いただき、御礼申し上げます。今後の学校運営の参考にさせていただきます。集計結果については後日掲載する予定です。